

令和7年12月17日

関係者各位

国立大学法人福島大学
食農学類長・大学院食農科学研究科長
新田 洋司
(公印省略)

教員の公募について（依頼）－応募締切日の変更－

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび福島大学では、農学群食農学類及び大学院食農科学研究科（修士課程）の専任教員の公募を行うことになりました。つきましては、関係各位に周知いただき、適任者を自薦・他薦くださるよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募概要

福島大学では平成31年4月に農学群食農学類、令和5年4月に大学院食農科学研究科（修士課程）を開設しました。また、令和7年4月から岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）に参画しました。本学類及び研究科では、生産環境・農林業・食品産業・消費者の連鎖であるフードチェーンに対応する4つの履修コースで、実践性と学際性を重んじる教育研究を行っています。フードチェーンの連鎖総体の成果の向上には、異なる専門領域が意識的かつ緊密に連携した高いレベルのチームワークが重要であり、他の教員と連携協力してチームワーク研究や人材育成に積極的に取り組んでいただける方を募集します。食と農の地域課題の解決に貢献し得る人材の育成を重視しており、特に学生の教育・研究指導に熱意のある方を希望します。

- ☐ 食農学類 <https://www.agri.fukushima-u.ac.jp/>
- ☐ 大学院食農科学研究科 <https://www.fukushima-u.ac.jp/graduate-schools/Food/>

2. 公募職名：准教授、講師または助教

3. 専門分野・公募人員：食品機能学 1名（任期なし）

*食品機能学は、生物化学、分子・細胞生物学、データサイエンスなどを基盤とし、食品機能性成分の消化・吸収、受容体との相互作用などの機能性発現機構の解明や実験動物やヒトを対象とした試験による食品機能性の科学的評価など、食品機能に関する基礎的・応用的研究分野です。さらに、附属発酵醸造研究所の兼務教員として研究業務に携わります。

4. 担当授業科目（主に食品科学コースの科目を担当する。）

【学類】（食品科学コース）

(1) 単独担当科目：

食品機能学Ⅰ、生物化学、卒業研究基礎演習、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文

(2) 分担担当科目：

スタートアップセミナー(初年次教育)、食品科学概論、食農科学英語演習、世界の食料と農業、キャリアモデル学習、食品科学実験Ⅰ・Ⅱ、食農実践演習Ⅰ・Ⅱ、農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ、食農地域実習

【大学院修士課程】(食品科学コース)

(1) 単独担当科目：

食農科学特別研究、食農科学特別セミナー

(2) 分担担当科目：

先端食品科学、食品素材機能学特論、食農地域実践研究、食農科学ワークショップⅠ・Ⅱ

*助教で採用された場合は、研究エフォートを確保するため担当科目に関して配慮することがあります。

5. 応募資格

(1) 博士の学位を有する方、またはそれと同等の研究業績を有する方。

(2) 採用者は岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)の教員資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。このため応募資格として、准教授の場合は岩手大学大学院連合農学研究科の副指導教員資格の基準を満たしている必要があります。講師または助教の場合でも、副指導教員資格の基準を満たしているかそれに近い研究業績を有することが望まれます。

*岩手大学大学院連合農学研究科、「連合農学研究科教員の資格等備えるべき条件の基準」

<https://ugas.agr.iwate-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/kijyun2021.pdf>

(3) 当該専門分野において優れた業績や識見があり、他分野の研究者・専門家や産業界・行政等と積極的に連携して教育・研究活動ができる方。

(4) 当該専門分野に関連した研究業績(学術著書・論文等)を有する方で、当該分野の講義及び演習・実習・実験科目を担当できる方。

(5) 採用後は、福島市あるいは近郊に居住できる方。

(6) 国籍は問わないが日本語による教育が可能な方。

6. 待遇

(1) 勤務時間：裁量労働制(みなし労働1日7時間45分)

(2) 給与：「国立大学法人福島大学特定年俸制教員給与規程」による。

(3) 休日：土・日、祝日、年末年始、その他特に指定する日

(4) 休暇：年次有給休暇、特別休暇等

(5) 社会保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険

その他本学諸規程による。詳細については「JREC-IN」を参照。

7. 採用予定日：令和8年4月1日

採用時期に希望があれば、後述の応募書類(8)「採用後の研究計画」で明記してください。

8. 応募締切日：令和8年1月13日（火）必着

応募締切日を令和8年1月5日（月）から令和8年1月13日（火）に変更しました。

応募状況等によっては、公募期間を延長することがあります。

9. 応募書類（各1部）

(1)履歴書（写真を貼付すること）（形式は自由、下記の欄を設けること）

年齢、学歴（大卒以降）・職歴、資格、賞罰・処分歴等、所属学会、連絡先（電話、メール）等を明記のこと。また、社会活動の履歴として、最近の学会活動（役職等）、国の審議会委員、自治体等の各種委員等も明記してください。

【記入上の注意】

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

※ 職歴の欄には、最終学校卒業等の月の翌月から、空白期間がないように記入すること。
なお、在宅期間については、勤務先の欄に「在家庭」と記入すること。

※ 賞罰・処分歴等欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

※ 履歴書等に経歴詐称があった場合には、採用取消や懲戒解雇等の対象となることがあります。

(2)学位記の写し又は証明書

(3)研究業績目録（形式は自由）

学位論文名、学術論文（査読の有無および責任著者の表記）、学術著書、特許、過去5年間の学会発表等（主要な著書・論文5編に○印を明記）

(4)外部資金の獲得状況（科研費、受託研究、寄附金等の名称・金額）

(5)主要な著書・論文（目録で明示したもの、コピー可。著書は後日返却）各1部

(6)研究業績の要約（形式自由で1,500字程度）

(7)教育実績等の要約（形式自由で1,500字程度）

大学、大学院等での、講義・演習・実習・実験等（科目名、コマ数）、過去5年間の卒業論文、修士論文、博士論文の指導学生数（主指導に限定）も付記してください。

(8)採用後の研究計画（形式自由で1,500字程度）

(9)採用後の教育計画（形式自由で1,500字程度）

学類及び大学院での教育に対する考え方、方針等を記してください。

(10)応募者の人物について問い合わせ可能な方の2名の氏名と連絡先

（書類提出先）

〒960-1296 福島市金谷川1番地

福島大学食農学類支援室 宛

（郵送の場合）

書留等（配達記録が残る方法）とし、封筒の表に「食品機能学_教員応募書類在中」を朱書してください。なお、応募書類は返却しません。

（電子応募）

JREC-IN Portal サイトより、JREC-IN Portal Web応募をご利用いただけます。

10. 選考内容

- (1) 提出書類の審査と必要に応じた面接（対面あるいはインターネットを介した遠隔）によって選考します。
- (2) 面接に要する旅費等は応募者の負担とします。
- (3) 業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を積極的に採用します。

11. 結果通知

選考結果は、食農学類教員会議・食農科学研究科委員会の決定後に通知します。

12. 留意点

- (1) 教育研究環境に関して、限られた施設設備等を有効に使用するために、実験室や学生の居室は専門分野が近い複数の教員による緩やかな共同利用のシステムをとっています。平成31年に新設された後、分析測定機器類や動物実験施設など先端的な機器・設備が配備されており、教育と研究に共同で利用し、協力して維持管理をしています。また、教員居室（25㎡）は、机、椅子、棚などを含めて全教員に用意されています。詳細はお問合せください。
- (2) 提出された書類については、本選考以外の目的には使用いたしません。

13. その他

本学学士課程改革の構想は、今後、文部科学省等関係者と調整の上、令和8年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。

参考 https://www.fukushima-u.ac.jp/news/Files/2025/04/193_02.pdf

<https://www.fukushima-u.ac.jp/2040/granddesign2040.html>

（問い合わせ先）

食農学類 教授 新田洋司（学類長）

電話 024-548-8364

E-mail : nittay@agri.fukushima-u.ac.jp